



認定特定非営利活動法人

日本がん登録協議会

JACR Japanese Association of Cancer Registries

NEWSLETTER

年2回
発行

JACR ニュースレター

February.2020 No.48

認定NPO法人になりました!

2005年
保健文化賞
受賞

2016年
朝日がん大賞
受賞

日本がん登録協議会第28回学術集会報告

高橋 将人 第28回日本がん登録協議会学術集会長

国立病院機構北海道がんセンター



日本がん登録協議会第28回学術集会を2019年6月19日(水)から6月21日(金)の日程で、北海道立道民活動センターかでの2.7で開催させていただきました。開催の数日前より、「もし天候が大荒れになり、札幌に来られない人がたくさん出たらどうでしょうか?」とか、「運営上とんでもない事が起こったらどうでしょうか?」とか、皆さんは笑うかもしれませんが、学会を運営する者としては気が気でなかったというのが正直な気持ちでした。雨も若干は降りましたが、幸い開催に支障となるような事態にはならず、参加者は300名を超える数となりました。まことにありがとうございました。

学会は実務者研修会から始まり、「国民へのがん登録情報の提供」、「がん登録データの研究利用」、「行政に生かすがん登録」、「都道府県/院内がん登録室の活動」の4つのセッションを実施させていただきました。各セッションは基調講演とパネリストの講演というスタイルで行ってみたいでしたがいかがでしたでしょうか?またポスター発表もたくさんの方に参加していただき、face to faceで討議できることからこれも口演とはまた違う趣でとても良かったと思います。特別講演にはテレビでもご活躍の山口真由様に登壇していただきました。彼女の財務省時代の話などとても興味深いものでした。全員懇親会はお金をあまりかけずに、でも実は力を入れた所でした。「えー、あの先生があんな事を!!」と、みんなが笑い、そして踊り、とても楽しく交流が深まったと思います。

今回の学会のテーマは「Passion for Cancer Registries!」とさせていただきました。この学術集会は病院関係者だけでなく行政の担当者も含めて全国の「がん登録」に係わる全ての方々が集まる唯一の機会です。がん罹患率や死亡率を減少させる有効な方法を計画するためには、その基礎データである「がん登録」は極めて重要です。基礎になる「がん登録」が、正確で利用しやすい方法となるように、必要なものは確実に保持し、改変すべき点は改変していくという姿勢は常に国民から

求められています。「がん登録」の実行性や問題点などを真摯に討議し、その重要性および発展性について情報交換して欲しいと考えこのテーマとしました。その意味ではうまくいったのではないかと自負しております。



受賞された方々

この学術集会では理事の先生方のご協力と厳正な審査を行い、優秀演題の表彰を行いました。最優秀口演賞に大阪大学の査凌様、最優秀ポスター賞に福島医科大学の河村英恭様、優秀ポスター賞に大阪大学の池田さやか様、がん登録室紹介ポスター賞(全国)に滋賀県立総合病院の柳香里様、がん登録室紹介ポスター賞(院内)に四国がんセンターの大平由津子様の5名を表彰させていただきました。受賞された方々本当におめでとうございます。

学会中いろいろと不手際があったと思います。北海道の爽やかな気候に免じてお許しいただきたく存じます。たくさんの方々にお世話になりました。本当にありがとうございました!

